



うきはでトライ!

ラグビータウンプロジェクト推進係 75-3343



■ラグビータウンプロジェクトとは

うきは市とプロラグビーチーム「ルリー口福岡」が連携し、ラグビーを通じて地域のにぎわいづくりや人材育成、交流促進を進める取組です。選手と、地域や企業などをつなぎ、スポーツによる地域活性化を目指しています。

4月からルリー口福岡に加入し、吉井中学校で教員として勤務している辻岡祥真選手。学校では教員として、グラウンドではラグビー選手として、うきは市を拠点に新たな挑戦を続けています。今回は、うきは市での生活や教育現場で感じること、今後の目標についてお話を伺いました。

■ラグビーを始めたきっかけや、これまでの競技人生で学んだことを教えてください。

ラグビーを始めたのは3歳の頃です。ラグビースクールのチラシを見て、自分から「やりたい」と言ったことがきっかけでした。

思うように試合へ出られなかった時期や、けがで大事な試合を逃した経験もありました。それでも仲間とともに努力を重ねた経験は、自分の大きな財産になっています。最後までやり切ることや、仲間のために行動することの大切さをラグビーから学びました。



▲大学時代の辻岡選手

■ルリー口福岡を選んだ理由と、うきは市での暮らしについて教えてください。

大学卒業後もラグビーを続けたいと思い、進路を探している中でルリー口福岡と出会いました。教員として働きながらラグビーにも打ち込める環境に魅力を感じ、入団を決めました。

初めてうきは市を訪れた時は、自然が豊かで落ち着く場所だと感じました。実際に生活を始めると、地域の方々

や学校の先生方がとても温かく迎えてくださり、人との距離が近いことも魅力だと感じています。

休日には市内を散策したり温泉に出かけたりしながら、うきは市での暮らしを楽しんでいます。

■教員として働く中で、子どもたちに伝えたいことや大切にしていることはありますか？

現在は特別支援学級の担任として勤務しています。毎日が勉強ですが、一人ひとりとしっかり向き合うことを大切にしています。

また、ラグビーを通じて学んだ「助け合い」の大切さも子どもたちに伝えていきます。先生に言われるからではなく、生徒同士で気づき、支え合える関係をつくってほしいと思っています。

■今後の目標を教えてください。

教員としては、生徒や保護者、地域の皆さんから信頼される先生になることが目標です。言葉だけでなく、自分自身の行動で示せる人でありたいと思っています。

ラグビー選手としては、まず公式戦の舞台に立つことが目標です。学校でもグラウンドでも全力で取り組み、子どもたちに挑戦する姿を見せていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

うきは市で暮らし、教員とラグビー選手の両立に挑戦する辻岡選手。そのひたむきな姿は、子どもたちや地域の皆さんに元気と勇気を届けてくれています。



▲吉井中学校で指導を行う辻岡先生